様式Ａ　　実践英語Ｉ　（長井(克)）

科目にかかわる情報				
科目の基本情報	授業科目 (欧文)	実践英語 Ｉ Practical English Ｉ	単位	２
	一般・専門の別・学習の分野	一般・外国語	授業形態・学期	講義・後期
	対象学生	ＭＳ－１・ＥＣ－１	必修・選択必修・選択の別	選択
教員にかかわる情報	担当教員・所属	長井克己・一般科目		
	研究室等の連絡先	研究室：長井(克)　管理・一般科目棟２階（内線：８１８８） E-mail：kats@tsuyama-ct.ac.jp		
科目の学習・教育内容にかかわる情報	基礎となる学問分野	言語学／ 英語学・外国語教育	学習・教育目標	F (F-3)
	授業の概要	さまざまな場面で使用される英語の表現を学び，理工系大学生として必要なコミュニケーション能力を伸ばす。TOEIC テストの解説も行う。		
	学習目的	理工系分野の英語を十分理解し，基本的な表現形式を用いて自分の意志を伝える。コミュニケーションが成立する程度(TOEIC 380-470)のリスニングや会話も可能となることを目指す。		
	到達目標	１．　理工系の業務に必要な英語の基礎的な表現を使うことができる。 ２．　普通の速度で話される英語を聞き取ることができる。聞き返しや確認もでき,それでも理解しにくい時には言い直してもらったりゆっくり話してもらったりするよう依頼できる。 ３．　TOEIC の形式を把握し，リスニングとリーディングの問題に対処できる。		
履修にかかわる情報と履修のアドバイス	履修上の注意	なし		
	技術者教育プログラムとの関連	本科目が主体とする学習・教育目標は「(F) コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力の育成: F-3. 技術者に必須の外国語である英語でコミュニケーションができること」である。		
	履修のアドバイス	英語の文献読解は「技術英語購読」で学べるので，この授業ではライティングとリスニング及びスピーキングを中心に練習を行う。語法や文法等は，授業で紹介する TOEIC の e-learning を利用して学習すること。		
基礎・関連科目にかかわる情報	基礎科目	英語 IA（１年)，英語 IB（１）英語 IIA（２年)，英語 IIB（２)，英語 III（３)，創造英語（４)，選択英語Ｉ（４)，選択英語 II（５）など		
	関連科目	技術英語購読（１）		

授業にかかわる情報		
授業の方法		１週２単位時間マルチメディア室で授業を行う。最新の新聞記事を読んで大意をつかむ練習をした後，ハンドアウトを利用して理工系で必要となる表現を学ぶ．いずれもネットワーク経由（テキストファイル形式）で毎週課題を提出してもらう。リスニングや発音練習も随時行う。
授業計画	開講週	内容〔項目〕(指示事項)
	１週	ガイダンス
	２週	Numbers and dimensions〔数と寸法〕
	３週	Shapes, angles, and lines〔図形〕
	４週	Fomulae〔数式〕
	５週	Position and movement〔位置と動き〕
	６週	Qualities and appearance〔性質〕
	７週	Classification and description〔分類の記述〕
	８週	Instructions〔説明書〕
	９週	Cause, effect, and reason〔原因，結果，理由〕
	１０週	Comparison and similarity 〔比較と類似〕
	１１週	Probability〔確率〕
	１２週	Hypothesis〔仮説〕
	１３週	Methods〔方法〕
	１４週	筆記試験（各週に練習した内容から出題する）
	１５週	筆記試験の返却と解説・まとめ
教科書，教材等		教科書：授業用ウェブページとハンドアウトを利用する． 辞書はマルチメディア室の Bookshelf が利用できる。 アルク「ネットアカデミー」(e-learning)も適宜併用する。
成績評価方法		毎週の演習を 30%（課題提出を含む)，筆記試験を 70%とし，合計により評価する。筆記試験では持込一切不可。
受講上のアドバイス		１年次に基礎的な英語によるコミュニケーション能力を身につけ，TOEIC テストで良いスコアを取得しておくと就職の際にも有利である。津山でも年４回受験できるので，参考書や受験の費用を工面して積極的にチャレンジして欲しい。